

産業技術総合研究所の産学官連携

独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）は、オープンイノベーションを実現する、より強化された（イノベーション）ハブ機能を「オープンイノベーションハブ」機能として掲げ、産学官が結集して、研究活動だけでなく技術評価や標準化までも含め、産総研の「人」と「場」を活用する連携を推進しています。

この「オープンイノベーションハブ」の実現には、組織・制度・人材の三つインテグレーションを総合的に進める必要があります。産総研では、①産総研の「人」と「場」を活用し、開かれた研究拠点の形成や大型連携の推進と、②生じた成果のより円滑な産業化に向けた取り組みを強く進めます。これらにより、③新たな企業の参加などを通してさらに広いネットワークの構築を組織的に進め、次の大型連携拠点の形成などを行っていくことで「オープンイノベーションハブ」機能のスパイラルアップを行っていきます。また、この過程を通してイノベティブな人材を育成し、産業界・大学・行政との連携の強化と深化を図ることで、産業化へのリードタイムの短縮を図ります。

このような取り組みを効果的に行うために、産総研の各地域センターに連携窓口として産学官連携センターを設置し、イノベーションコーディネータを配置しています。また、技術相談を入り口に、共同研究、受託研究、研究試料提供、依頼試験など、様々な連携メニューを用意して、皆様の課題解決にご協力致します。

産総研の産学官連携

「オープンイノベーションハブ」機能の実現と強化

研究活動・技術評価・標準化を含めた、「人」と「場」の活用・連携促進



- ①産総研の「人」と「場」を活用し、開かれた研究拠点の形成や大型連携の推進
- ②生じた成果のより円滑な産業化に向けた取り組みの強化
- ③さらに広いネットワーク構築の組織的促進

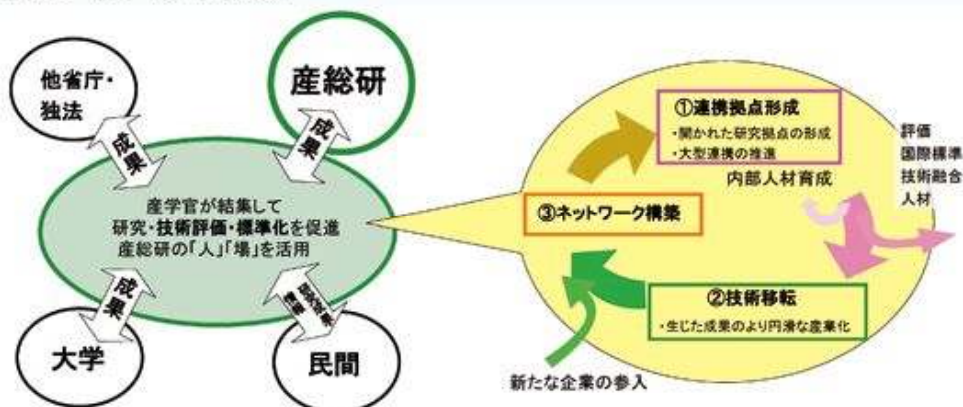
「オープンイノベーションハブ」機能のスパイラルアップ



イノベティブな人材を育成

産業界・大学・行政との連携の強化と深化

産業化へのリードタイムの短縮

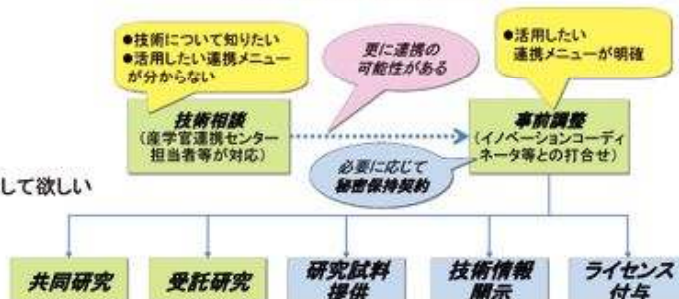


産学官連携への取り組み

イノベーションコーディネータ、技術移転マネージャー等を配置し、以下のような仕組みを用意して産学官連携に取り組んでいます。

産総研との主な連携の流れ

- 技術相談(無料) ← 技術について知りたい
- 共同研究 ← 一緒に研究開発したい
- 受託研究 ← 産総研に研究してもらいたい
- 研究試料提供 ← 試料の実用性を評価したい
- 技術情報開示 ← 未公開特許・ノウハウ等を開示して欲しい
- ライセンス付与 ← 産総研の知財を利用したい
- 技術研修 ← 専門技術を身につけたい



研究開発や技術移転、技術相談などでお困りのことがございましたら、お気軽にご活用ください。

<http://unit.aist.go.jp/kyushu/ci/>